

「笠間市こども理科学研究自由研究プレゼン大会」を開催



参加した皆さん

大賞 優秀賞

作ろう!最強の糸電話

異常気象?集中豪雨について調べてみよう!!

力を出すんだ!だ液くん

ぶよぶよ卵はできるかな

さとうの研究

カブト虫とクワガタ一番好きな食べ物は?

岩間第二小学校

笠間小学校

みなみ学園義務教育学校

北川根小学校

岩間第一小学校

岩間第一小学校

夏休みの理科自由研究の魅力を多くの人に伝えようと、小学生を対象にした「第1回笠間市こども理科学研究自由研究プレゼン大会」を開催しました。児童の「理科についての関心」「自由研究についての取り組み意欲」「プレゼンテーション能力」など、主体性を持って生きる力を育むことを目的にしています。今回の大会には12作品、18名の児童が参加し、下記の作品が入賞しました。

くぼた 久保田 結	しおはた あすみ 塩畑明日美
こばやし ひかる 照煌	こばやし ゆめみ 小林 星夢
あおき 奏良	さき さき 木彩光
ふくしま あいり 福島愛彩璃	はやし れいな 林 怜那
なみき 並木 美奈	よしざわ よしざわ 吉澤 里沙
まつざき まつざき 松崎 桜	

東京五輪事前キャンプ誘致のために

12月11日(月)、日本の文科省にあたる文化部の楊子葆^{ヨウシホ}台湾文化政務次長一行が戸戸ヒルズCCをはじめ、笠間市内を視察しました。

楊子葆台湾文化政務次長は戸戸ヒルズCCのコースを高く評価し、「キャンプ地を決める体育署と一緒に検討したい」とコメント。「笠間の食や笠間焼といった芸術は台湾でも知られている。今後も末長く交流を進めていきたい」と話しました。



楊子葆台湾文化政務次長(右)

スポーツ振興で 県功績者表彰

多年にわたり、軟式野球の普及・発展に尽力され、県軟式野球連盟役員として組織の充実発展に貢献した功績により、川堀一郎さん(笠間)が茨城県功績者表彰を受けました。

川堀さんは現在も、笠間市体育協会の会長として、笠間市のスポーツ振興に力を注いでいます。

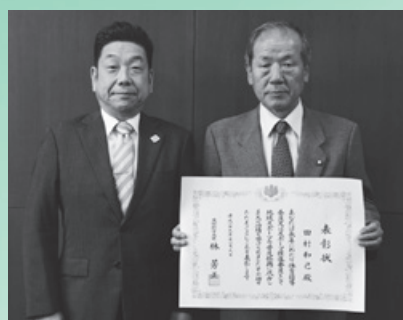


山口市長に報告する川堀さん

スポーツ推進で 文部科学大臣賞

スポーツ推進委員として地域に貢献した功績により、田村和己さん(福原)が、全国スポーツ推進委員研究協議会茨城大会で文部科学大臣賞を受賞しました。

田村さんは、笠間市スポーツ推進委員として、地域に根ざしたスポーツ活動に尽力しており、スポーツ競技の企画運営など、さまざまな活動に携わっています。



今泉教育長に報告する田村さん

保護司活動で 法務大臣表彰

笠間地区保護司会の鶴田信晃さん(随分附)が、長年にわたり罪を犯した人の更生援助や犯罪予防活動など保護司活動に尽力された功績が認められ、法務大臣から表彰されました。

鶴田さんは平成9年から法務大臣の委嘱を受けて保護司となり、以来20年間ボランティアである保護司として活動してきました。



表彰を受けた鶴田さん

まちの話題

まちづくりグリーンリボン賞を受賞

「平成29年度茨城県うるおいのあるまちづくり顕彰事業表彰式」(茨城県主催)が11月25日(土)に石岡市で行われ、景観や住環境の向上など、うるおいのあるまちづくりに功績のあった4団体の1つとして、「笠間のまちと通りのこれからをみんなで考える会(通称:かさまち考)」がまちづくりグリーンリボン賞を受賞しました。

街並みづくりガイドラインの策定や笠間朱色の活用など、笠間稲荷門前通りの賑わいづくり活動が評価されました。代表の沼田雄一郎^{ぬまた ゆういちろう}さんは「石畳に整備された門前通りにこれからも賑わいをつくっていきたい」と話していました。



かさまち考の皆さん

笠間工芸の丘に法務大臣感謝状

県民文化センターで11月9日(木)、第56回茨城県更生保護大会が開かれ、「社会を明るくする運動」の民間協力者として、笠間工芸の丘に法務大臣感謝状が贈られました。

笠間工芸の丘では、法務省主催による「社会を明るくする運動」を10数年にわたり続けていて、その一環として陶芸体験への協力や、自社イベントで刑務所受刑者が制作した作品を販売するなどの積極的な活動が評価されました。



笠間工芸の丘の吉井社長

男女共同参画推進作品コンクールで表彰

11月7日(火)、男女共同参画社会への理解と関心を深めてもらうために行われた標語と写真の作品コンクールにおいて、最優秀受賞者に賞状と記念品が贈られました。

標語コンクール最優秀賞受賞者は、友部第二中学校3年の^{かんだち なみ}神田千奈見さん。『想像しよう 未来の笠間 男女で協力 住みやすく』と、共に助け合うことのできる社会への思いを作品に込めました。

写真コンクール最優秀賞受賞者は、大田町の^{こむろみね こ}小室峰子さん。「兄妹」のタイトルで、波打ち際に座り、波にさらわれないよう兄が妹の膝をおさえる姿をおさめた作品です。

このほかに、標語コンクールでは、優秀賞6点、入選15点。写真コンクールでは、優秀賞2点が入賞しました。入賞作品については、男女共同参画推進のために活用されます。

大好きいばらき作文コンクールで入賞

第28回大好きいばらき作文コンクールで、友部さくらさん(友部中2年)、柳橋^{やなぎはし}琴音さん(稲田小4年)、須藤^{すとうはる}美音さん(友部小2年)が入賞しました。

大好きいばらき作文コンクールは、県内の小・中学校および高等学校に在学する児童・生徒を対象としたコンクールで、今年は県内542校の学校から、22,555点の応募がありました。

賞	学校名	学年	氏名	作品名
日立財団 奨励賞	友部中	2	友部さくら	やさしさ。協力。思いやり。
茨城県議会議長賞	稲田小	4	柳橋 琴音	西茨城百km徒歩の旅にさん加して
日立財団 奨励賞	友部小	2	須藤 美音	わたしのゆめ



稲田小 柳橋さん



友部小 須藤さん



友部中 友部さん

安全・安心なまちづくりのために寄付金

『安全・安心まちづくり寄付金』として11月28日（火）、笠間遊技場組合から市に寄付をいただきました。山城栄一組合長は、^{やましるえいいち}「地域の防犯、防災、交通安全等の活動に役立ててほしい」と話していました。

同組合からは毎年寄付をいただいていた、犯罪抑止のための防犯カメラの設置・管理など、市民の安全を守り、安心なまちづくりのために活用しています。



寄付金を山口市長に手渡す山城組合長（右）



有限会社三共金属工業所従業員の皆さん

子どもたちの福祉のために

昭和63年から押辺地区で金属製品製造を主な業務として、建築部材や自動車部品等を生産している有限会社三共金属工業所から、市に寄付金をいただきました。

寄付にあたり三共金属工業所の鈴木社長は、「笠間市に工場を設立して約30年。これからもこの地で頑張っていきたい。寄付金は笠間市の子どもたちのためにぜひ役立ててほしい」と思いを話してくれました。

市では寄付金を活用し、一人親家庭の資格取得等、子どもたちの福祉の分野に役立てます。

いばらきデザインセレクションに選定

茨城県の地域や産業を元気にする優れたデザインを選定する「いばらきデザインセレクション2017」が開催され、市内からソーシャルデザイン部門で「酒米田んぼオーナー制度」の上郷地域うまい米づくり研究会、テーマセレクション部門で「庭力フェKULA」、プロダクトデザイン部門は「陶彩選器」で笠間焼協同組合青年部の3件が選ばれました。

報告のため訪れたのは、上郷地域うまい米づくり研究会の生駒さん親子、庭力フェKULAオーナーの富田さんと中庭を施工した大平造園土木の大平さん、笠間焼協同組合青年部長の福野さん。どのデザインもこだわり抜いて作り上げられたことが伝わり、それぞれに代表者の熱意が感じられました。



左から、大平さん、富田さん、山口市長、生駒さん親子、福野さん

スポーツファイナル



DREAMの皆さん

第11回市長杯菊まつり バレーボール大会

11月3日（金）

市民体育館

優勝 DREAM
準優勝 大空
第三位 友部さつき
第三位 APEX

第10回笠間市近郊中学生 ソフトボール大会

11月19日（日）

岩間B&G海洋センター

優勝 水戸第三中学校
準優勝 中央中学校（埼玉県）
第三位 友部中学校

まちの話題

笠間小学校に最新式センサーコンロを寄贈

LPガス機器を快適に使用し、災害時にも強いガスの重要性や利便性を知ってもらうため、茨城県高圧ガス保安協会が小学校などに最新式のSiセンサーコンロを贈りました。

今年度は、笠間小学校に8台のSiセンサーコンロが寄贈され、11月25日（土）、同協会笠間支部主催で「親子ふれあい料理教室事業」が開かれました。料理教室には親子9組19人が参加し、笠間市ヘルスリーダーの会指導のもと、ナポリタンやせん切り野菜の卵スープなどを作り、使いやすさを体感しました。



左から、小林副校長、菅原笠間支部長

上加賀田盆栽山野草展が10周年

11月11日（土）、12日（日）の2日間、上加賀田公民館で、上加賀田盆栽山野草展が開催されました。同展は今年で10周年。会場には、思い思いの盆栽や山野草100鉢以上が展示され、来場者の目を楽しませていました。

山野草展を主催した「しらさぎ会」は約35名の会員で運営され、展覧会は春と秋の年2回行われています。しらさぎ会を含め、地区では三世交代を活発に行い、地域の高齢者から子どもまで、みんなが交流できる機会を今後もつくりたいとのことでした。



しらさぎ会の皆さんと山口市長（中央）

真岡市と災害時の相互応援協定を締結

笠間市と栃木県真岡市は11月15日（水）に、「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。

平成29年3月に「原子力災害時における笠間市民の県外広域避難に関する協定書」を真岡市と締結したことがきっかけとなり実現しました。同協定を結んだ3市2町の中では、すでに小山市と相互応援協定を結んでおり、真岡市は2市目となります。

今後、地震や水害などの大規模災害が発生し、被災者救助等の応急措置が困難となった場合は、避難者を一次収容するために必要な施設や食料品、飲料水などの生活必需品、施設の応急復旧に必要な物資の提供など、相互に応援を行うようになりました。

市では、今後も自治体や民間企業などと災害支援協定の締結を進め、災害時における被災者支援を充実させていきます。



左から、石坂真岡市長、山口市長



石井神社大鳥居

約120年ぶりに石井神社大鳥居が完成

石井神社（石井）参道入り口の大鳥居が、約120年ぶりに建て替えられ、11月15日（水）、約30名の参拝者や市民が見守る中、鳥居の初めぐりや参道渡り初めなどの式典が行われました。

石井神社は、西暦807年に社殿の再建の記録がある古く長い歴史のある神社で、これまでの大鳥居は明治34年に建立された檜造りのものでした。

鳥居は、高さ約6m、幅8m、唐紅色の鉄製造りで、黒く塗られた木製の屋根を施した両部鳥居です。水田和宏宮司は「氏子さんたちの力で建てられたこの大鳥居が、石井地区そして笠間の新たなシンボルとなり、地域活性化につながれば」と話しました。